

apo

Product for clients

Career Power Life & Information Plaza

Powered By Career Power

株式会社 キャリアパワー

Vol. 77
2017.8 Summer

「図書館は大きな可能性を秘めている知の結晶である。 その可能性を最大限発揮していく事が自身の使命である。」

梶山女学園大学
図書館長

福永 智子様



Top Interview

巻頭インタビュー

大学改革を重ね、日本の女子大学で最多の特色ある7学部体制となり、発展し続けている梶山女学園大学。その教育的基盤となる図書館で館長を務めておられる福永智子様にお話をお伺いしました。福永智様様の先見の明、そして柔軟な考え方は今後の図書館発展に必要なidentityと感じました。

時代の変化に図書館も柔軟に 対応していく。その選択肢として 業務委託は大きな可能性を感じている

組織の変革にあわせて、今年度から星が丘キャンパス中央図書館の業務委託導入を含め、業務委託の拡大をさせて頂きました。業務委託の導入については、学園本部での判断が主体ではありましたが、私も今までの図書館運営では難しい部分を感じておりました。

学生の利用者からアンケートを取っているのですが、その声からも図書館は今まで以上に改革をしていくべきだと痛感しておりました。但し、限られた資源では難しい所もあり、業務委託を導入する事で解決や改善される事は大きいと思っておりました。

また私は、図書館情報学を専門に研究をしているのですが、その活動の中で公共図書館などの指定管理制度には反対している立場ではあります。ただ今のご時勢、現実的な図書館運営を考えますと予算も限られている中、利用者サービスなどのパフォーマンスを上げていくという事は難しい側面がありますので、一部の業務委託は止むを得ないと思っています。今回、中央図書館の業務委託導入につきましては、現実的な運営、サービスの向上を考えると選択肢としては良かったと思っております。職員などの直接雇用と業務委託とのバランスや調整は考えていく必要はありますが、密に連携させていく事が今の時代に則していると思っております。

利用者目線の図書館をパートナーの キャリアパワーと共に創っていききたい

業務委託導入前にキャリアパワー社へ期待していた事の一つとして、キャリアパワー社は多数の大学図書館運営の経験をお持ちですので、その経験から標準的な図書館サービスを本学図書館で構築してもらいたいと思っておりました。

実はここ最近、先生や学生からのご希望やお声を一番聞いてきたのは、他ならぬ館長である私なのですが、本来現場で勤務しているカウンター職員がキャッチするべきと思っておりました。

今までは私が色々のご希望を聞いて、図書館に対して「こうしてほしい。」と図書館に対して利用者の希望を伝えておりましたが、館長としては本来、役割が違うかも知れませんが、本学図書館の教育職員が私だけであり、先生方のご希望とか研究上の必要な環境など色々耳にすることが多いという所はありましたが、私がお望みのご希望を一番聞く事ではおかしい。やはりカウンター職員がキャッチする事が必要だと思ひ、標準的な図書館サービスを構築する事で、利用者の声をキャッチしてもらうこと。要は利用者が色々話しやすい雰囲気作りに期待していた訳です。

実際に導入して3ヶ月目になりますが、期待していた通り満足しておりますし、カウンターでの業務以外にも、統計データや事務的な業務も成果があり、業務委託のメリットを改めて感じてい

ます。今後更なる成果を期待しており、今までは利用者目線でなかった部分もありますので、【利用者目線の図書館】作り、【居心地の良い空間】作りを大いに今後とも期待しています。

先生方にも、今まで以上にもっと図書館に来てもらえる様に環境を作っていきたいと思っています。それは、先生方から期待される図書館になる事だと思ひます。資料探しなどで図書館に来て頂いた時に、図書館のプロとして資料を迅速に見つけ出し、また接客面でも良いサービスを提供してもらいたいです。

おもてなしを出来る図書館が、先生方や学生への信頼につながると思っており、そういうところでキャリアパワー社はすごく、感じ良く対応されていますので、やはり手本になると感心しております。また身近に手本がある事で、我々も勉強させられるところは非常に大きいです。

ご提案の時も「図書館のカウンター業はサービス業である。」という企業理念に賛同しました。大学という教育環境では一般企業のCSなどの考えが弱い所も業界の違いとしてありますので、この弱い部分を補えるところは大きな要素として捉えています。

また業務委託は簡単に言うとその業務をお願いする訳ですが、職員への教育、勤怠管理、動機付け、マニュアル作成・整備、フォーマットの作成など、これらも含めて全てを運営してもらっている事は、改めてすごい事だと感じました。

深刻な学生の読書離れ。学生目線に あわせていく事で図書館の想いは伝わる。

利用者サービスの部分において、業務委託で強化できると判断した訳ですが、利用者サービス向上の必要性を感じた事のもう一つの大きな要因として、現在大学生がかつてなく本から離れてきていることがあります。

最新の学生生活実態調査によれば、読書を全くしない大学生がなんと49.1%であり、約半数の大学生が本を読まなくなってきております。これは緊急事態だと思っています。読書をしない大学生がこの3年間で8.6ポイントも増えており、読書をする時間も1日平均24.4分、本学は女子大ですが、女子の読書時間は男子より少なく1日平均20.3分です。

ここでは図書館で新しい書籍をどれだけ購入しても半数もの学生に読まれない。大学教育の根幹に関わる問題です。そこで、まずは【気軽に友達と一緒に来れる、身近な図書館】の環境作りを力を入れ、現在でも試行錯誤しながら頑張っています。

さらに、学校読書調査によると、すでに高校生から読書をしなくなっています。小学生の時は不読者の割合は4.0%ですが、中学生で15.4%、高校生になると57.1%まで大幅に上がります。大学生になると学業や就職活動などもあるので、読書を通じて勉強をするのかなと思われそうですが、実際には高校生時代の読書離れをそのまま引きずっています。

こういう現状の中、本学では【気軽に友達と一緒に来られる、身近な図書館】として、まず学生の選書ツアーと展示に注力しております。実際、学生が選書した本はすぐに借りられ、選書コーナーからすぐに無くなってしまいます。他にも「ビブリオバトル」という、学生が本を紹介してどの本が面白いかわかる投票する書評ゲームにも取り組んでいます。この様にできるだけ学生中心で、且つ学生同士で本の情報をやりとりできる環境作りを意識しています。

こういう企画に関しては業務委託を導入した事により職員が考える時間も確保出来たので、今後色々な企画を催していければと考えています。

またアクティブラーニングとして講義を聴いて終わりではなく、予習復習を図書館で勉強してもらえ環境の充実も必要と考えていますが、極端に言えば、読書や勉強目的ではない学生も、ちょっと涼みにとか、お友だちと待ち合わせなど、どんな理由でも来てほしいと思っています。その為には先ほどお話ししましたが、カウンターでのサービス対応をもっと向上していく事が不可欠です。とにかく図書館の良さを知ってほしい。その為にはまず図書館へ足を運んでもらえる事が必要と常々思っております。

そして、これは賛否両論あると思いますが、2年前に鎌倉市図書館で「新学期がっらい子は図書館へいらっしやい」、「逃げ場所に図書館も思い出してね」とTwitterに投稿され、メディアでも取り上げられ大きな反響がありました。鎌倉市の対応は私は良いことと思っています。学生が自身のプライベートの事とか勉強の事とか、親の事とか、そういう事を話せる大人の第3者は今の時代、す

ごく求められていると思いますし、それが本学図書館でも出来ればと強く思っています。食堂や教室だけではなく、図書館という知的資料のある環境がそのような居場所になると、学生生活や勉強、人生においても大きく寄与されます。アットホームな環境、雰囲気も大切であり、つつい居心地が良く、ついでに本を読む。これぐらいの“感じ”が良いと思っています。

先ほどの学校読書調査によると、小学生が読む本の冊数は1ヶ月平均11.4冊、高校生になると1.4冊となります。「子どもの読書活動推進法」が2001年に制定されてから、子ども読書推進活動計画が策定され、小学生・中学生には成果が上がっているのですが、高校生になるとひどく落ち込みます。今の大学生も小学校の時はずっと本を読んでいたのが本質的に嫌いな学生は少ないと思っています。生活習慣として身近なものであったと思いますので、何かのきっかけで今の大学生も読書に戻ってくると、期待しています。

学生の主体性が、大学・図書館・ 学生を成長させていく

また、本学図書館にはLibraLeave(リブラリーブ)という学生の図書館スタッフがあります。また昨年から大学の取り組みとして、「学生サポーター制度」という学生同士が助け合う制度も導入されました。今の時代、大人の職員があれこれ考えるよりも学生が主体的に取り組む、学生の交流を深める事で、学生同士が学べる環境に繋がっていると思います。今後は、学修支援のレポート相談にも、学生サポートを導入していきたいと考えています。

授業や部活が終わって帰宅する学生生活もいいのですが、就職活動時に、大学時代に頑張った事と聞かれて、「アルバイトを頑張っていました！」ではやはり寂しいので、大学や図書館で取り組んでいる、この様な学生主体の動きが、社会人になる基盤となればと思っています。

大学も研究も社会活動も「読書」が 永遠のテーマ

今まで、大学図書館についてお話をさせて頂きましたが、私の社会活動についてお話をさせて頂きます。

私の社会活動は読書推進を主として動いており、三重県の子ども読書活動推進会議の座長なども務めております。今年で6年目になりますが、先ほど申し上げました「子どもの読書活動推進法」という法律が2001年に施行され、その法律に基づいて、読書推進の環境を整備する事が自治体にも求められています。

環境の整備とは何かと言いますと、0歳~18歳までの子どもの身近に本のある環境を整えることです。自治体の政策としては、学校図書館に司書がない場合は司書を配置したり、図書費をつけたりいろいろあります。またこの他にも公共図書館の図書館協議会委員もいくつか担当しており、社会的活動でもとにかく図書館や読書と関わっています。

研究テーマもやはり読書の事ですね。地元密着型の研究が多いので、その地元の方との交流

も多いのですが、読書離れについては良く話題にあがります。

社会活動で取り組んでいる事ですが、小学校へ本学の学生と一緒に読み聞かせに行っています。本学の学生は最初「今時、読み聞かせをして子ども達は喜ぶのですか?」と半信半疑で一緒に行くのですが、実際 読み聞かせに行くと、それはもう子ども達は夢中です!目をキラキラさせて「お姉さんありがとう!」ってすごい歓迎ムードです。また読み聞かせが終わった後もお手紙も頂いたり「椋山のお姉さんありがとう!」「絶対また来てね!」「〇〇のところがすごく面白かったよ!」とか、皆さんが思っているよりも、子どもは本が好きなんだと改めて思います。

この様に、地域社会、そしてご家庭や学校。この三本柱で読書推進をしていく事で、成果はあがってきています。2000年頃に比べて子どもの読書は随分と改善されてきました。

次の課題は中学生、高校生の読書率を上げる事ですね。この年代になるとスマートフォンが生活に密接になってきます。この世代の生活環境の中でいかに読書を身近にするか。そういう意味では本はスマートフォンに負けていると思っており、且つ部活や塾、通学で忙しくなる年代ですが、その中でも本の良さ、読書を身近に感じてもらえる事を考えていきたいと思っています。

図書館へのきっかけは恩師との出会い。 この出会いが私の人生を大きく変えてくれた

最後になりましたが、私の経歴など紹介をさせて頂きます。

現在の専門分野は図書館情報学ですが、学部学生の時は実はフランス文学を学んでおりました。なぜ?フランス文学から図書館?と思われる事でしょう。学生時代に図書館司書の資格取得の為、並行して勉強をしていたのですが、当時受講していた授業がすごく面白くて図書館の業界に惹かれていきました。今でも鮮明に覚えています。アメリカの図書館の歴史の授業だったのですが、図書館の業界を知るきっかけとなりました。そこから図書館の道へと進んで行き、私に図書館の世界を教えて頂いた先生からご縁を頂き、現在の椋山女学園大学勤務となります。

趣味は音楽や園芸、ドライブですが、忙しくてなかなか趣味の時間が取れないですね。

園芸はバラを植えたりして綺麗なお花を飾ったりもしていたのですが、最近はトマトやきゅうり、レタス、ゴーヤなど食べられる物が多いですね。(笑)

運転はスリットと気持ちを切り替える事が出来るので好きですが、最近は忙しくて、なかなか時間が取れていないです。去年は子どもの受験もありましたので本当に忙しかったのですが、今年は時間も少しは作れるようになりました。ですが日頃の疲れで休日は身体を休める事が多いです。

また最近新しい家族が増えました。里親募集でフレンドブルドックを迎え入れました。動物はすごく好きですので、新しい家族にいつも癒されています。

仕事も家庭も忙しいのですが、これからも今を生懸命駆け抜けたらと思います。

■ Information

BPO (ビジネスプロセスアウトソーシング)・大手電機メーカーバックオフィスサービス



統括責任者 八太

各企業様が競争力の強化に向けてBPOの活用が、昨今活発になってきております。背景として、「人材確保が難しい」「労働法や派遣法に関わる2018年問題」「限られた予算」「ノウハウの構築」など課題が山積み続ける状況であると感じております。

弊社では豊富なBPOの実績より、アウトソーシングのリーディングカンパニーとして毎年多数のご発注を頂いております。コスト削減、品質パフォーマンスの向上、社員様のコア業務への集中など企業様のニーズにあわせてのご提案により、各企業様の成長基盤となるべく、日々奮闘しております。

今回は数あるBPOの中から今年度より新しく立ち上げました大手電機メーカーバックオフィスサービスで統括責任者をしております八太(ハッタ)よりご挨拶と取り組んだ事例などお話をさせていただきます。

八太「初めましてキャリアパワーの八太と申します。今回、大阪にある大手電機メーカーのBPO事業で統括責任者を務めております。最初、企業様からは業務の繁忙期・閑散期にあわせて人員の調整を

する事でのコストダウン、そして品質パフォーマンスの標準化。大きくこの2点の課題を頂きました。

マニュアルやフローも頂きましたが、初期調査段階の印象は業務フローが非常に細かく、またこの業務は経験値が豊富に無いと、とてもアウトソーシングでは難しいと正直思いました。ですが、企業様からの熱い想いを調査期間で聞いているうちに弊社なら過去の実績とノウハウで何とか対応出来る。いや対応しないといけない!と思い、日々試行錯誤しながら今では問題なく業務をまわす事が出来ました。

繁忙期・閑散期で人員の調整をするという事は新しいスタッフを短期間で業務を習得してもらい、繁忙期に即時対応出来るようにしていく必要があります。今回の業務は多岐にわたり難しい業務でしたが「業務整理/フローの見直し/組織体制の見直し/研修資料の作成/研修方法/動機付け」などのあらゆる方面を過去の事例、実績、経験から新しい事業スキームを作り上げました。

まだまだ不十分だと思っておりますが、メンバーにも恵まれており、チームワークも良く軌道に乗りつつある状況です。立ち上げて数ヶ月が経過しますので、これからは企業様の期待以上の成果が出るように頑張りたいと思います。企業様と共に成長しあえる事に日々、喜びを感じています。」

■ Information

人事労務最新トレンドセミナーを開催いたしました

社会保険労務士の中宮伸二郎先生をお招きし、人事労務の担当者様を対象とした、「人事労務最新トレンドセミナー」を開催しました。改正労働契約法・改正労働者派遣法による、いわゆる「2018年度問題」に加え、昨年末に政府よりガイドライン案の示された「同一労働同一賃金」、「働き方改革」の中で議論の進む長時間労働への法整備など、企業が対応すべき人事労務のポイントは多岐にわたります。今回は社労士の先生から、2018年度における対応と注意点、その選択肢、同一労働同一賃金における注意点など、実例を交えながら、徹底解説して頂きました。

ご参加頂いた人事担当者の皆様からも、非常に参考になった、と評価頂き、「こういった場合にはどうなの?」といった質問もあがるなど、盛況のうちにセミナーを終了することができました。ご参加頂いたクライアント様、お忙しい中、ありがとうございました。今後も人事労務に関して、様々な情報発信してまいりますので、引き続き、クライアントの皆様からのご指導、よろしくお願いいたします。



■ Information

第19回 図書館総合展に今年も出展します

2017年11月7日から11月9日の3日間、パシフィコ横浜で開催される第19回 図書館総合展に今年も出展します。会場内に企業ブースを出展し、さらに弊社主催のフォーラムも2日間にわたって開催予定です。是非、会場に足をお運び下さい。お待ちしております。

※フォーラム内容については、近日中に弊社ホームページ等で公開予定です。フォーラムへのご参加もお待ちしております!



■ Interview

スタッフインタビュー



私立大学 教務課勤務
萬玉 麻美様

「仕事の楽しみや達成感をチーム全員で共有して喜びあいたい」

■お仕事／大学／キャリアパワーとの出会いに感謝

まずキャリアパワーに登録したきっかけですが、当時は図書館でお仕事をしたいと思っており、司書業務で探していました。その中でキャリアパワーのお名前が良く出てきて、インターネットでキャリアパワーの事を調べていくと、大学関係や図書館関係のお仕事に強く、また会社としても良さそうな印象を受けましたので登録をしました。登録後には現在、勤務している大学事務をご紹介頂いた訳ですが、興味と遣り甲斐をすごく持てるお仕事をご紹介してもらい感謝しています。

実際のお仕事ですが、教務課で実習担当の業務をしております。具体的には実習関係の資料や配布物の作成、学生さんから提出された書類のチェック・送付、窓口対応がメインのお仕事ですが、こちら以外にも授業のサポートなども担当しております。現在勤務している大学が仏教系であり、礼拝授業があるのですがその授業の事前準備や授業中の運営サポートをしており、授業中は先生からご指示を頂き資料の配布や印刷をしております。また体調が悪くなられた学生さんの対応なども行い、先生がスムーズに授業を進められる様に心掛けています。

また時期的なお仕事もあり、現在ならオープンキャンパスのお手伝い。そして入学式、卒業式のお手伝いなど幅広くお仕事をさせてもらっています。

■「自分自身が出来る精一杯の事をする」この繰り返しで自分自身が成長していける

学生さんとの窓口対応も多くあるのですが、学生さんからは色んなご相談を頂きます。正直「どうしよう…」とか困った事もありますが、ご相談頂いた事を解決した時や学生さんから「ありがとうございます!」と言われてもらえるとすごく遣り甲斐を感じますね。

あと書類作成のお仕事も多岐に渡ってあるのですが、その中でも重要な会議で使われる資料作成など任された時は特に遣り甲斐を感じますね!また作成した資料は、職場の上司に確認してもらいますが、すぐにOKにならない時も、もちろんあります。でも何回も手直しをさせて頂き、最後にOKを頂いた時は達成感があり、「頑張ってたかった!」と心から思います。

お仕事をやる中で気をつけている事は担当するお仕事にあわせてスピードと正確性をどちらを優先すべきかを意識しています。例えば、学内で使われる資料作成は、なるべく早く進めていき、業務の効率に繋がるようスピードを重視して取り組んでいます。また学外(実習先など)へ提出する書類などは、もちろんスピードも重要になりますが、それ以前に納期までにきちんと作成をして、ミスや漏れなどがないように正確性を重視して取り組んでいます。

書類に関しては職場の上司が全てチェックをしてくださるので安心感がありますが、上司に任せっきりにならない様に、今まで以上に自分自身でのチェックを徹底して業務が円滑に進めていけるように頑張りたいと思っています!

私のモットーである「自分自身が出来る精一杯の事をする!」この気持ちを持ち続けて、今後もお仕事をしていきたいと思っています。

■日々、感謝の気持ちを忘れずお仕事に進んでいきたい

今の職場はすごくアットホームです。私が勤務した初日から温かく迎え入れてもらえました。私の居る部署だけではなく、他の部署、また大学全体としてもアットホームであり、人間関係で悩む事なくお仕事が出来るすごく良い環境です。

私は派遣での契約にて勤務をしておりますが、そういう契約関係なども気にせず具申や発言もしやすい職場です。良い職場を紹介してもらえた事と職場の皆様へ改めて感謝します!

■仕事と一緒にプライベートでも精一杯の事をしていきたい

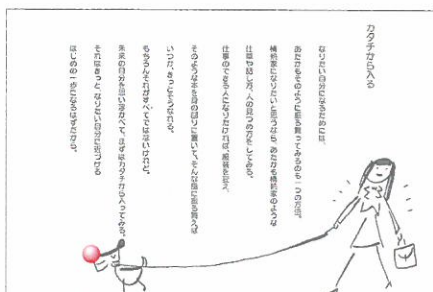
私の趣味なども少しお話したいと思います。以前は時間があればダンス!というぐらいダンスがメインだったのですが、もともと多趣味という事もあり、最近は色々な事をしております。基本は身体を動かす事が好きなのですが本を読んだり、編み物をしたりする事も好きです。

興味があれば積極的にまずはやってみる!というスタンスですので、結果的に多趣味になってしまいます(笑)これからの夏の季節は海とか山とかに行く事が多くなり、かなり先まで週末の予定は埋まっています(笑)お仕事に支障が無い様に怪我には気をつけて休日にも精一杯の事をしていきたいですね!

最後になりましたがキャリアパワーでお仕事をさせて頂いた事ですが、保険関係や健康診断などの福利厚生も良いのですが、一番はやっぱり営業担当の方が頻りに連絡をしてくれる事で、常に私の事を気にかけてくれているという安心感がある事です。疑問や相談事などもすぐに解決してくれるところも安心ですし、いつも嫌な顔もせず気軽に連絡が取れるのは本当に心強いです!これからも引き続き宜しくお願いします!

■ Information

● ご存知ですか? キャリアパワーのあかいドロップ



「This We Believe…」わたしたちキャリアパワーの信じるどころ。その思いから生まれた小さな冊子が「キャリアパワーのあかいドロップ」です。出会うことができたすべてのスタッフの皆様の中に、私たちの想いをお伝えしたい。そして、一人でも多くの方の心に、その思いを留めてほしい。ずっと変わらぬ思いでお届けしています。ぜひご愛読ください。

ご希望の方に配布中です くわしくはスタッフ企画室まで!

TEL 0120-288-450 E-mail info@careerpower.co.jp

■Support Center News

学術サポートセンター

学術サポートセンター通信 Vol.Ⅲ

弊社キャリアパワーでは図書館で働くスタッフさんへの教育やサポート、そしてアウトソーシングの運営サポートに特化した、「学術サポートセンター」がごございます。この学術サポートセンターは図書館業務とアウトソーシング運営に精通した「プロ」集団です。今回はその学術サポートセンターからの「ワンポイント学習」と東海地区担当のトレーナーをご紹介させていただきます。

■ワンポイント学習

「NACSIS-ILL」について

NACSIS-ILLは、国立情報学研究所(以下、NII)が大学・研究機関向けに運営している、ILL(Interlibrary Loan:図書館間相互貸借)業務を支援するためのシステムです。

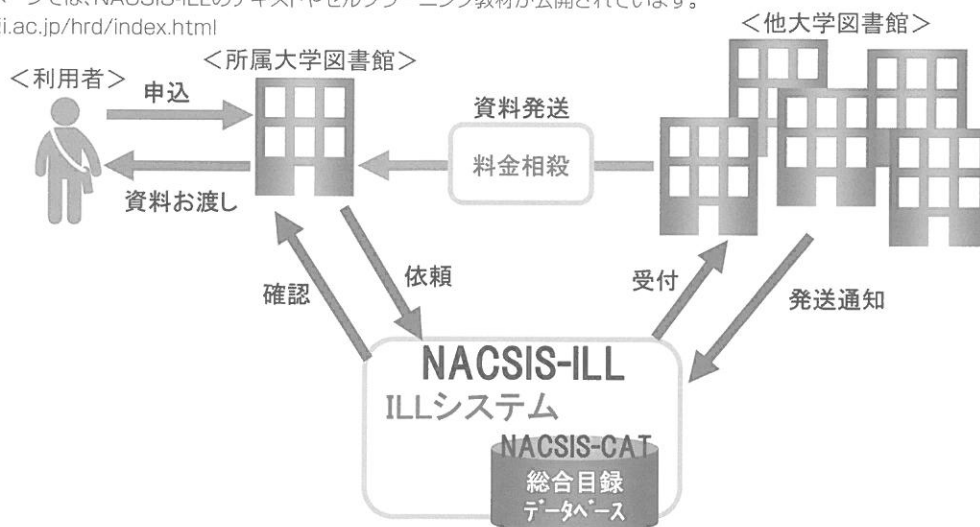
平成4年4月に開始されたこのサービスでは、資料の所在調査や相互貸借・文献複写の依頼など、それまで郵送やFAXで行われていたやりとりをオンライン上で行うことができます。また、NACSIS-CATの総合目録データベースを活用しており、最新の所蔵情報に基づいて依頼先を探したり、必要な書誌事項を自動で転記することが可能です。

NACSIS-ILLの大きな特徴として、料金決済制度「ILL文献複写等料金相殺サービス」(以下、相殺サービス)があげられます。このサービスに参加している機関間で行ったILLの料金については、一件ごとに支払い処理を行う必要がありません。各参加機関の四半期ごとの受付料金総額と依頼料金総額をNIIが相殺し、依頼金額が多ければNIIへの支払いを、受付金額が多ければNIIからの入金をもって決済されます。

相殺サービスの参加は任意ですが、NACSIS-ILL参加機関の約9割が採用しています。特に、大学図書館においてはILL業務の大半がこの相殺サービスで処理されており、利用者に迅速な文献提供を行うための欠かせないツールとなっています。

※NIIのホームページでは、NACSIS-ILLのテキストやセルフラーニング教材が公開されています。

<http://www.nii.ac.jp/hrd/index.html>



■トレーナーのご紹介

株式会社キャリアパワー 学術サポートセンター トレーナー 近藤 親紀



図書館トレーナーの近藤親紀と申します。現在は東海地区を中心に、弊社が受託する大学図書館運営のサポートに従事しております。アウトソーシング導入時においては、大学図書館職員の皆様も新たに就業を始めるスタッフの皆様も、大きな期待と不安を抱えていらっしゃるでしょう。その不安を解消し、双方の期待に応える体制を組み立てることがトレーナーの最初の使命です。

業務のひとつひとつを丁寧に確認し、これまで大学様が培われてきたものを尊重しつつ、今後の方針・ご要望を踏まえた効果的な仕組みへと整えて参ります。

業務の明確化・標準化は委託導入当初のメリットとして、まず実感頂けるのではないのでしょうか。また、弊社の理念として「図書館はサービス業である」と考えております。図書館専門知識についての指導は勿論、接遇面にも力を入れていること

が私共サポートセンターのひとつの特徴です。

就業前に実施する事前研修時、立ち上げ時の現場でのOJT、また定期研修等のタイミングにおいて継続的にビジネスマナー指導も行って参ります。挨拶、笑顔の作り方、館内アナウンス時の発声方法、利用者の動線把握など、接遇目線の細やかな配慮が明るく親しみやすい図書館の雰囲気作りに繋がるよう、スタッフと共に研鑽の日々です。

図書館を取り巻く状況と共に、図書館が扱う情報・サービスは変容してきました。今後も、情報は利用者にとってますます身近な形態へと進化し続けていきます。司書も常に研鑽と進化を求められますが、しかし、その本質は不変だと私は感じています。時代が変わろうと、雇用形態や経験が違おうと、目指すところは一つです。

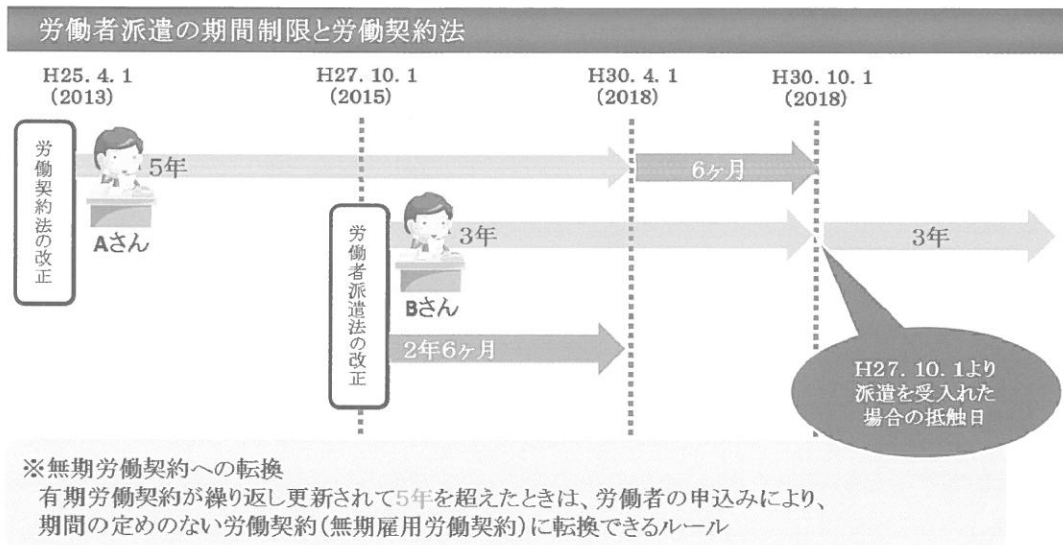
「利用者のために何ができるのか」を大学図書館の皆様、就業しているスタッフの皆様と共に問い続けていきたいと思っております。



■ Case Study

<労働契約法><改正労働者派遣法>2018年問題とは?

2018年問題とは、労働者が有期雇用契約を反復更新し、同一の事業所との間において、通算5年を超える労働契約を締結したときに、労働者の申し込みによって労働者と事業者の間に期間の定めのない労働契約が成立するルール、いわゆる「無期転換ルール」の5年目と、派遣先の同一の組織単位で、同一の派遣労働者が就業できる上限が3年と定められた3年目が、同時に2018年に来るということです。



● 法令遵守委員会

キャリアパワーは、労働者派遣法や労働基準法など各種労働法令を遵守し、常に適正な事業運営を果たすために、社内に法令遵守委員会を設置しています。定期的に派遣先を巡回、また社内監査を行ないながら、派遣契約内容を改めて見直し、法令の遵守が出来ているかの再チェックを行なっています。また、全社員に対して法令知識向上とコンプライアンス遵守の意識強化のために、定期的に研修会や勉強会を実施し、コンプライアンスの課題解決や事前防止の徹底を図っています。遵法精神を貫くことで、当社で働く派遣労働者、そして人材派遣を利用される全ての派遣先企業様に、よりいっそう満足して頂ける様、活動を行なってまいります。

派遣コンプライアンスに関する問い合わせ先

株式会社キャリアパワー 法令遵守委員会
TEL 075-341-2929 E-mail support@careerpower.co.jp

キャリアパワー各支社へは、フリーコール 0120-154-450 にお気軽にお問合わせください

東京：〒100-0004 東京都千代田区大手町1-7-2 東京サンケイビル 15F
大阪：〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-12-17 梅田スクエアビルディング 2F
名古屋：〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅3-25-9 堀内ビル8F
京都：〒600-8216 京都府京都市下京区堀小路通丸西入東堀小路町843-2 日本生命京都ヤサカビル 4F
滋賀：〒525-0025 滋賀県草津市西沢川1-1-3 リバティハウス4F
システムセンター：〒600-8269 京都府京都市下京区七条通堀川西入西八百屋町160

TEL.03-6895-2929(代) FAX.03-6895-2911
TEL.06-6346-2929(代) FAX.06-6345-1268
TEL.052-563-2929(代) FAX.052-563-3511
TEL.075-341-2929(代) FAX.075-341-3828
TEL.077-501-9292(代) FAX.077-501-9200
TEL.075-344-6776(代) FAX.075-344-6780

発行
株式会社 **キャリアパワー**
企画/制作
株式会社 **キャリアクリエイト**
2017.8.15発行